



## リリースの新機能 12.9

- [ビルド番号, on page 1](#)
- [新規および更新済み機能, on page 1](#)

### ビルド番号

Version	ビルド番号
VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.9(2) <ul style="list-style-type: none"><li>• Cisco JVDI Agent</li><li>• Cisco JVDI Client</li></ul>	12.9.2.304552
VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.9(1) <ul style="list-style-type: none"><li>• Cisco JVDI Agent</li><li>• Cisco JVDI Client</li></ul>	12.9.1.304247
VDI 版 Cisco Jabber Softphone リリース 12.9 <ul style="list-style-type: none"><li>• Cisco JVDI Agent</li><li>• Cisco JVDI Client</li></ul>	12.9.0.303399

### 新規および更新済み機能

#### 12.9(2)

#### 新しいサポート対象プラットフォーム

VDI 版 Cisco Jabber Softphone 12.9 (2) は次の新しいプラットフォームをサポートしています。

- Citrix XenApp and XenDesktop 7.15 Cu6 (LTSR)
- Citrix Virtual Desktop とアプリケーション 7 2009 (CR)
- VMware ホライズン 7.13 と VMware ホライズン クライアント 5.5

## 12.9(1)

### Mac OS シンククライアントのサポート

VDI 版 Cisco Jabber Softphone VDI リリース 12.9 (1) のは、シンククライアントとして MacBook (MacOS) プラットフォームをサポートするようになりました。ユーザは、Mac デバイス (MacOS 10.14 または 10.15) を使用して、ホストされた仮想デスクトップ (HVD) にアクセスできます。VDI クライアントをインストールする前に、Citrix Workspace の最新バージョンをインストールしてください。インストールされていない場合、VDI クライアントのインストールは失敗します。MacOS の VDI 12.9(1) 向け VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、Windows および Linux プラットフォームですでにサポートされているほとんどのコール機能がサポートされています。「ヘッドセット呼制御」の場合、MacOS は Jabra ヘッドセットのみに対応しています。

VDI 版 Cisco Jabber Softphone MacOS のは、応答/終了、ミュート/ミュート解除などの通話制御を行うために、アクセサリとしてオーディオデバイスの使用もサポートされています。サポートリストは Jabber for Mac に配置されています。詳細については、[https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc\\_endpoints\\_accessories.html](https://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/uc_endpoints_accessories.html) を参照してください。

#### 要件 — Mac OS

##### サポートされているオペレーティング システム

VDI 版 Cisco Jabber Softphone は、次の MacOS バージョンでサポートされています。

- Mojave (10.14)
- Catalina (10.15)

##### ハードウェア要件

要件:	Mac 版 Cisco Jabber
搭載されている RAM (Installed RAM)	メモリ 2 GB
物理メモリの空き容量	1 GB
ディスクの空き容量	300 MB

要件:	Mac 版 Cisco Jabber
CPU の速度およびタイプ	次のいずれの Apple ハードウェアの Intel Core 2 Duo もしくはそれ以降のプロセッサ <ul style="list-style-type: none"> <li>• iMac Pro</li> <li>• MacBook Pro</li> <li>• MacBook</li> <li>• MacBook Air</li> <li>• iMac</li> <li>• Mac Mini</li> </ul>
I/O ポート	USB 2.0 (USB カメラおよび音声デバイス用)

### Citrix Workspace の要件

VDI 版 Cisco Jabber Softphone Mac OS のリリース 12.9(1) は、Citrix VDI 環境でのみ動作します。Cisco JVDI Client をインストールする前に、Citrix Receiver クライアントではなく、最新の Citrix Workspace クライアントをインストールする必要があります。

- Citrix Receiver 13.0 以降
- Citrix Workspace app 1808 以降
- VMware ホライズン ビュー クライアント バージョン 4.x および 5.x

Citrix Workspace app または VMware ホライズン クライアントは、対応する接続ブローカーのユーザ インターフェイスを提供します。

公開されたアプリケーションモードとスクリーンに合わせるオプションはサポートされていません。

### アクセス許可の受け入れ

#### Procedure

ユーザが Mac OS で Cisco JVDI Client を初めて起動する場合は、次の必要な権限を許可する必要があります。

Table 1: 必要な権限

権限	説明
アクセスカメラ	ビデオ通話でカメラを使用するか、または [設定 (Settings)] でカメラを開きます。
アクセスマイク	通話中にマイクを使用して音声を再生します。
録音画面	ビデオ通話でカメラを使用するか、または [設定 (Settings)] でカメラを開きます。
アクセスアクセシビリティ	Cisco JVDI Client を Citrix ビューアーと一致させるために必要です。Mac OS 上でアプリケーションを最大化すると、アプリケーションウィンドウは新しい仮想デスクトップ（またはスペース）に配置されます。ユーザが Citrix ビューアーを最大化すると、Jabber のビデオオーバーレイウィンドウは Citrix ビューアーのスペースに配置されます。これを行うには、JVDI がシステムのアクセシビリティへのアクセスを要求する必要があります。ユーザは JVDI の初回実行時にこのポップアップを表示します。

## MacOS インストーラの実行

MacOS インストーラ (PKG) を実行して、Cisco JVDI Client をインストールします。

## Procedure

- Step 1** Install\_Cisco\_JVDI\_Client.pkg ファイルをダブルクリックします。
- Step 2** EULA を読み、同意する場合は [続行 (Continue)] をクリックします。
- Step 3** [インストール (Install)] をクリックしたら、Citrix ビューワーを閉じてくださいというプロンプトを閉じ、[アプリケーションを閉じてインストールする (Close Application and Install)] をクリックします。
- また、現時点で Citrix を閉じることができない場合は、[後でインストールする (Install Later)] をクリックすることもできます。
- Step 4** 残りの画面をクリックして、インストールを完了します。

## 新しいサポート対象プラットフォーム

VDI 版 Cisco Jabber Softphone 12.9 (1) は次の新しいプラットフォームをサポートしています。

- ホストされた仮想デスクトップ (HVD) としての Windows Server 2019
- 接続ブローカーとしての VMWare Horizon 8
- Citrix の仮想アプリとデスクトップでは、接続ブローカーとして CR は最大 2006 です。

## 録音トーン

エージェントにしか聞こえないレコーディング通知トーンがすでに再生できます。顧客にレコーディング トーンを再生することもできます。この機能は、Unified CM Administration の [システム サービス パラメータ (System Service Parameters)] の下でオンにします。録音トーンの有効化の詳細については、「Cisco Jabber リリース ノート」と、「Cisco Unified Communications Manager の機能およびサービスガイド」のモニタリングとレコーディングの章を参照してください。

## 12.9

### すべてのプラットフォーム機能

#### Cisco Jabber のサポート

このリリースでは、次の新しい Windows 版 Cisco Jabber リリース 12.9 の機能がサポートされています。

- 以前のバージョンのクライアントのサインインをブロックする
- シスコ ヘッドセット ファームウェア アップグレード通知
- Cisco Sunkist 730 ヘッドセットプレゼンス LED が Jabber と同期します
- ネットワークに問題が発生した後のカスタムタブ更新

- Jabber ヘルプセンターの追加されたリンク
- 会議を開始する最大 15 分前に参加
- クライアントのテーマに合わせてカスタムタブの調整をプログラムで行います
- PRT ログのリモートコレクション
- Unified CM 会議でサードパーティを削除
- 会議室名で常設チャットルームを検索
- ユーザは、TMM へのアップグレード時に再度サインインすることを余儀なくされます
- チーム メッセージング モードの XMPP 連合連絡先

## HP Thin Pro 機能

### Jabber VDI に対する非全画面表示（ウィンドウ）モードのサポート（Linux のみ）

Linux 版 Jabber VDI の以前のリリースでは、全画面表示モードのみがサポートされていました。非全画面表示モードを設定すると、この機能に影響があります。また、非全画面モードがサポートされています。

## Ubuntu の機能

### Linux シンククライアントのプレゼンスの改善（Ubuntu および eLux のみ）

ホストされた仮想デスクトップから Linux シンククライアント（Ubuntu および eLux）からプレゼンス（ステータス）情報を渡すための、VDI 版 Cisco Jabber Softphone の機能が改善されました。これで、ユーザがシンククライアントをロックすると、そのプレゼンスが不在に更新されます。切断されると、そのプレゼンスがオフラインに更新されます。

#### 新しいパラメータ—HVDDisconnectSignout

- 値—True または False
- デフォルト—False

パラメータが True に設定されている場合、HVD が切断したときに Jabber によってコールアウトされます。

パラメータが False に設定されている場合、Jabber は、HVD が切断されても利用可能として表示されます。